

光化学オキシダント (OX)

表1に示すとおり一般局の北部、西南部、小立野、西部、中央、駅西局の6測定局全てで短期的評価による環境基準を超過した。環境基準を超過している状況はこれまでずっと継続している。令和4年度の全国の状態も同様であり、測定局数1,143局のうち環境基準を達成している局は1局であった。

昼間の日最高1時間値の年平均値は、図1に示すとおり過去10年間でほぼ横ばいであった。金沢市全体の環境基準(0.06ppm)超過日数は、59日であり、ここ数年間では横ばいとなった。

月平均値は、図2に示すとおり春季に最も高く、夏季、冬季に低い結果となった。

経時変化は、図3に示すとおり9時から上昇し、14時でピークとなり16時以降減少した。

表1 一般環境大気測定局における光化学オキシダントの年間測定結果

測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数	
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)
北部	366	5469	0.091	0.047	35	199	0	0
西南部	366	5476	0.093	0.049	49	281	0	0
小立野	305	4544	0.090	0.045	26	144	0	0
西部	366	5475	0.091	0.048	32	192	0	0
中央	366	5476	0.092	0.046	33	198	0	0
駅西	365	5444	0.091	0.047	37	209	0	0
本市平均			0.091	0.047				
全国平均(R04)				0.046				
環境基準			0.06以下(短期)		0.06以下(短期)			

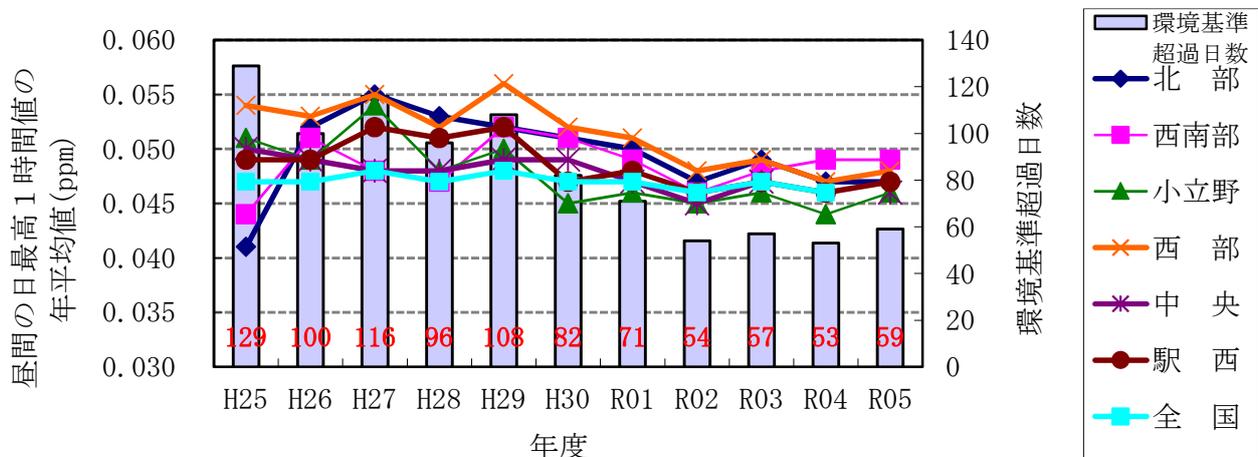


図1 光化学オキシダントの年平均値と環境基準超過日数の経年変化

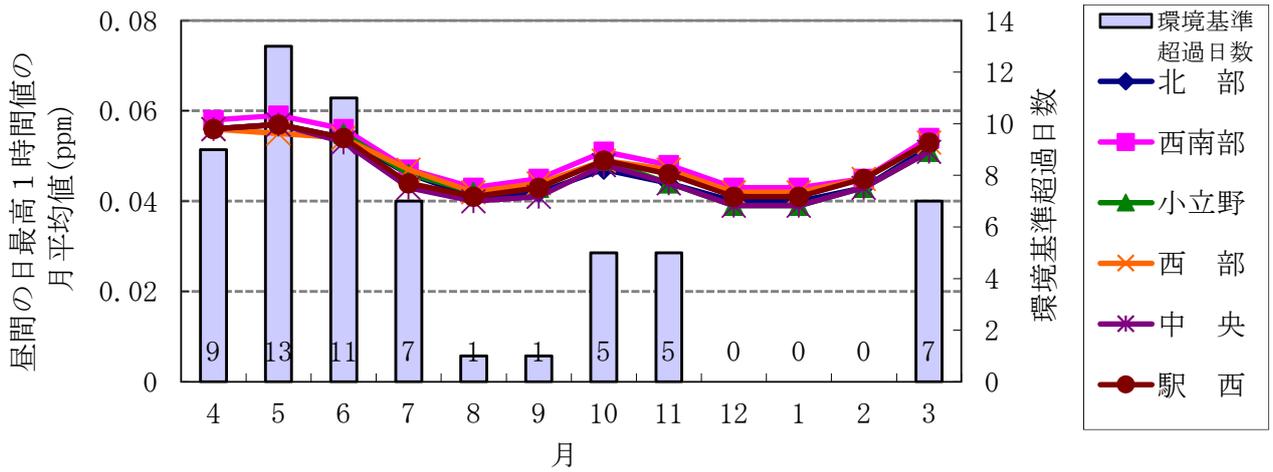


図2 光化学オキシダントの月平均値と環境基準超過日数の経月変化

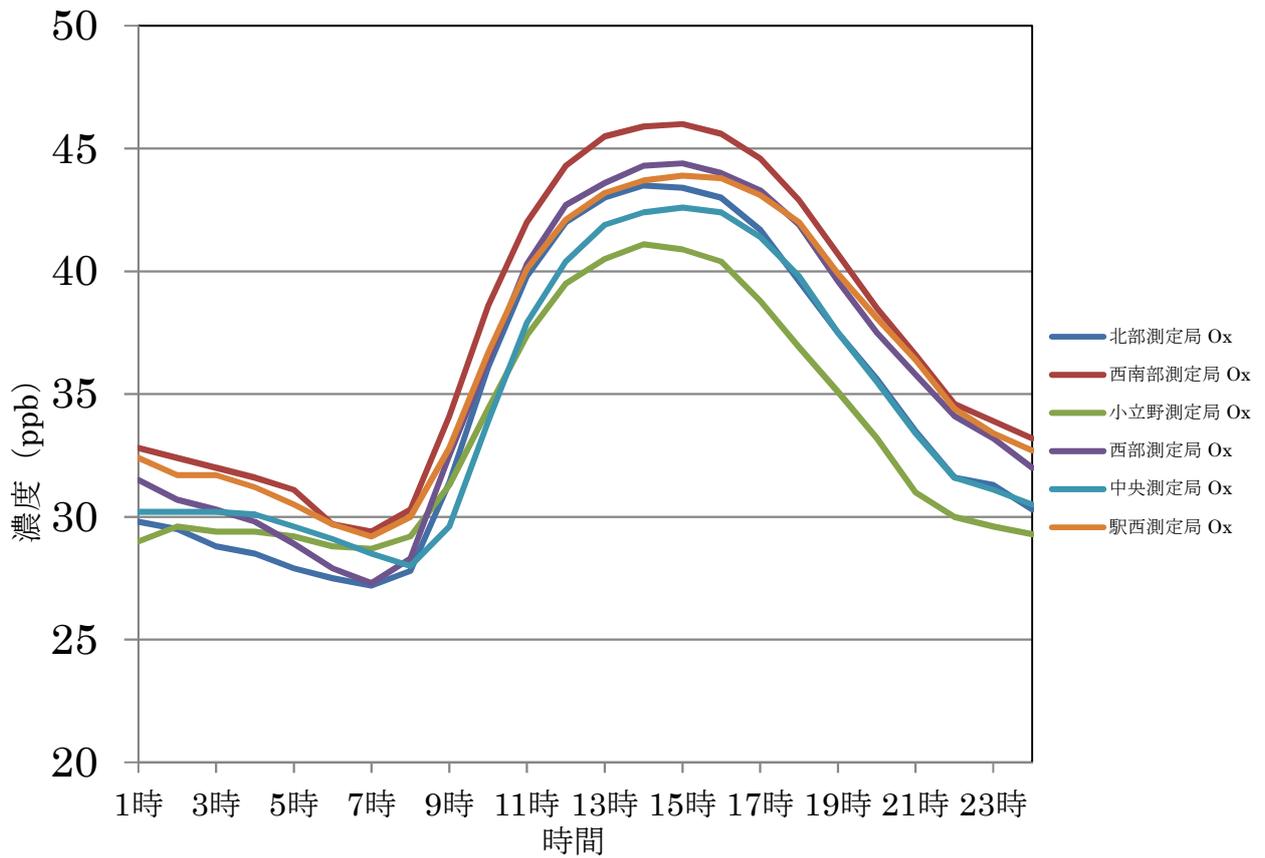


図3 光化学オキシダントの1時間値の経時変化